

3. 教科目の概要

環境原論 Principles of Environment		全専攻		基礎必修科目		
		1年	前期	2単位	必修	講義
		担当者(部屋番号)				
		北野 日出男 (832)				
【 授 業 目 標 】						
<p>本講では、環境問題は本来生物学的問題であるという立場にたつて、生物学とくに、生態学的視点から「環境」概念形成の歴史をたどると共に、多様な生命のネットワークのもとに機能している「地球共生系」のあるべき姿を考察してみたい。また、同時に、具体的な生物的自然に触れ、人と自然との関わりや「環境」との相互作用のもとに生活している生き物の実態を知るために「自然観察学習」を実施し、「環境」に関する科学的知識(理論)の検証に役立てたい。</p>						
【 授 業 方 法 】						
<p>最新の事例を提供しその説明をしながら、各自から意見を出してもらい、それに基づいた討論形式も用いる。また、キャンパス内外の身近なフィールドで自然観察の方法を紹介する。</p>						
【 授 業 計 画 】						
<ol style="list-style-type: none"> 1 自分史の紹介 - 私自身の研究の道程を紹介しながら「環境」への様々な関わり方を考えてみる 2 現代科学が構築している世界観 - 自然・環境系の重視 -サイエンス・パラダイムの潮流 3 現代科学が構築している世界観 - 地球史 -スペース・シップ「アース」の不思議 - 4 現代科学が構築している世界観 - 生命史 -生命の同一性と多様性 - 5 現代科学が構築している世界観 - 種生物学の重要性 - 環境と種分化 - 6 生態学という学問について 7 生態学という学問 - 「環境」概念形成の歴史 8 生態学という学問 - 生態学とは -その方法論と方法について - 9 生態学という学問 - 生態学の研究領域について 10 教育と環境について 11 教育と環境 - 「環境」認識の広がり 12 教育と環境 - 子どもをとりまく現代の環境 13 教育と環境 - 自然観察論 - 野外での自然観察学習の重要性 - 14 教育と環境 - 環境教材としての「熱帯降雨林」 - 種の多様性調査とボルネオの自然を紹介 - 15 教育と環境 - 環境教材としての「昆虫」 - 「環境」を限りなく有効に使う生き物 - 						
教科書	プリント配布。		評価方法	出席状況・授業中の質疑応答およびレポート等により総合的に判断する。		
参考書	講義中 その都度紹介する。		留意点			